

空冷・水冷  
ヒートポンプ

▶山形県南陽市

社会福祉法人 南陽恵和会

# 特別養護老人ホーム こぶし荘

贈呈  
理由

環境省補助事業を活用した高効率ヒートポンプの導入により、  
大幅な省エネルギー・CO<sub>2</sub>削減を実現



特別養護老人ホーム こぶし荘

## 地域に開かれた 高齢者福祉施設を目指して

社会福祉法人 南陽恵和会が運営する「特別養護老人ホーム こぶし荘」は、山形県南部の開湯900年余の赤湯温泉や宮内熊野神社など歴史と伝統溢れる南陽市に、1989年4月に開設された。

同法人は長期入所生活介護をはじめ、短期入所生活介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護、居宅介護支援などの介護保険事業を展開し、地域とともに歩み、開かれた高齢者福祉施設を目指して高齢者の生活をサポートしている。

同法人が運営するこぶし荘は、基本方針の一つである「その人らしく穏やかに暮らせる環境づくり」を心掛け、明るく家庭的な雰囲気の中、専門スタッフ



電気式ヒートポンプ(個別分散)室外機

が入所者の希望に沿ったサービスを提供するよう努めている。

その一方で、開設から約30年が経過し、経年劣化による空調設備の故障やランニングコストの増加が施設運営の課題となっていた。

## 環境にもやさしく、 快適な施設を目指して

この課題を解決するためにこぶし荘では、冷房は冷房専用の電気式ヒートポンプマルチエアコン、暖房は重油ボイラであったものから、冷暖房ともに居室ごとに温度管理が可能な電気式ヒートポンプエアコン(個別分散)へ設備更新する計画を立て、同業種で補助金を活用した設備更新事例や設計事務所などからのアドバイスを元に、種々検討が重ねられた。

懸念材料となっていた高額なイニシャルコストも、CO<sub>2</sub>削減量の試算を重ねた結果、平成29年度環境省補助事業「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」の採択を受けたことで解決し、空調設備の更新を実施することとなった。

今では居室ごとの快適な温度管理

や、環境に配慮した省エネルギー・省コストな空調設備を実現している。



電気式ヒートポンプ(個別分散)室外機

### 一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	空冷ヒートポンプマルチエアコン+A重油ボイラ 一次エネルギー消費量:8,786GJ
採用システム	空冷ヒートポンプマルチエアコン マルチルームエアコン 一次エネルギー消費量:7,987GJ



[諸元]エネルギー使用実績比較 一次エネルギー換算値  
※電気(全日)9.76MJ/kWh ※A重油39.1MJ/ℓ  
※[エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則]

### 特別養護老人ホーム こぶし荘

所在地:山形県南陽市川樋508  
建築設計:株式会社鈴木建築設計事務所  
設備設計:弘栄設備工業株式会社  
設備施工:弘栄設備工業株式会社  
延床面積:4,379.39㎡  
竣工:2018年更新

#### 蓄熱設備概要

電気式ヒートポンプ(個別分散)66台  
能力計353.5kW(ダイキン工業・パナソニック)